

発行所 静岡県高等学校障害児学校教職員組合 静岡市葵区駿府町1-12 高教組新聞編集委員会 http://www.s-koukyousho.jp/ e-Mail info@s-koukyousho.jp TEL (054) 254-6900 FAX (054) 254-0814 Facebook:「静岡高教組」で検索

第447号 2019年 9月18日

高教組しんぶんは組合費とカンパによって発行されており、全教職員に配布しています

あなたも高教組へ

2面 ・全国教育のつどい ・話題の本を読む



全日制公立高校の生徒一人あたりの学校教育費、約101万円/年は税金から投入されますが(2016年度会計)、私立高校の私費負担の学納金は平均56万円。アンケートでは、親に負

主張

8月31日、「子どもと教育を考える静岡県民会議」は、全国私教連の書記長、山口直之さんを招き、学習会・教育全国署名のスタート集会を行いました。

「私学の無償化」!?

納金56万円を加えても不足する125万円分は、人件費を削ることになり、専任講師を減らして講師で対応しているところが多数です。

「私学も無償」が当たり前!

教育の受益者は国

教育は「受益者負担」と言いますが、主権者を育てる「公共の利益のための教育」ですから、受益者は教育を受ける個人ではなく、国

したもので。九州の女子校に看護コースが多いのは、三池炭鉱、八幡製鉄所のために看護師が必要と、地元の人々がお金を出し合って、地域に根差した教育をおこなう私学を設立したため。金持ちの子どもが通う

私学もありませんが、ほんの一部。公立高校が少なくてはいれずやむなく私学へという生徒がたくさんいます。高校生・保護者との共同運動 私学助成運動は「先

生たちだけにやらせておく運動ではない」と保護者も、「私たちは有権者じゃないけれど主権者だ」と高校生もまじえた共同の運動に発展。 今年の8月の、高校



(加藤奈央)

多くの人とつながり、様々な悩みを語り合え、とても貴重な時間を過ごすことができました。 当日、私は司会として

火を囲んで、お酒もいただきました▼個性派ぞろいのキャンプで、みんな自分勝手に行動するのですが、みんなの目的は、ただただ楽しむ。おいしいご飯も、有意義なおしゃべりも、テントの設置と撤収も、火の始末もゴミの片づけも、気づけば、ほぼほぼ完璧にやりとげ、充実したキャンプとなりました▼誰かが上から命令することもなく、緻密な計画を立ててあるわけでもなく、その場の場で決断して、それぞれのペースで、それぞれの任務を果たし、感謝しあつて、予想以上に楽しんで、成果も出してしまふ。二学期はそんな職場で働きたいな、と思っています。夏休み口スかなあ

人事院勧告

月例給0.09%

一時金0.05月引き上げ4.50月に

6年連続のペア勧告も初任給・若年層のみ改善 住居手当見直し

人事院は、8月7日、2019年度の国家公務員の給与と等に関する勧告と公務員人事管理に関する報告をおこないました。 生活改善に程遠く 人事院勧告では、行政職給料表(一)を改定して大卒程度初任給を1,500円、高卒者を初任給を2,000円引き上げるとともに、30歳代半ばまでの号俸を改定するとしていました。一時金については0.05月引き上げるとしました。6年連続の引き上げ勧告とはなりましたが、初任給の水準は最低賃金を下回ることは確実で、高齢層には一時金の引き上げのみという内容では公務労働者の生活改善にはほど遠いものです。

でも生計費は変わらず、「全国一律1,000円以上、めざせ1,500円」の要求は、地域間格差を是正するものとして社会的にも注目を浴びています。最低賃金を下回る公務労働者をなくすとともに、地域手当の見直しと軌を一にする全国一律最賃制の実現が必要です。



夏休み、キャンプにいつてきました。いや、キャンプにつれてつもらいませ

最低賃金の改定額は最高が1,013円、最低は790円。地域間の格差は23円で、18年度から1円縮小し、16年ぶりに金額差は改善されました。しかし、全労連の調査では、全国どこでも生計費は変わらず、「全国一律1,000円以上、めざせ1,500円」の要求は、地域間格差を是正するものとして社会的にも注目を浴びています。最低賃金を下回る公務労働者をなくすとともに、地域手当の見直しと軌を一にする全国一律最賃制の実現が必要です。

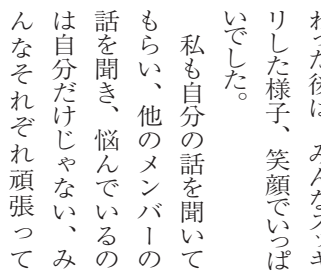
初日の焼津での「歴史の真実を学ぼう」分科会では、NHKディレクターの児島芳樹さんのお話を聞きました。俳人・金子兜太さんの戦争体験や、慰安婦問題を取り上げた番組への政治介入など、虚偽情報を拡散して扇動しようとする「ポスト真実」への警戒。肉親を戦争で亡くした方たちの各地から平和を求めめる声の紹介。俳句「梅雨空に『9条守れ』の女性デモ」の公民館月報への掲載拒否の件も2018年



視座 夏休み、キャンプにいつてきました。いや、キャンプにつれてつもらいませ

地域間格差の是正を 最低賃金の改定額は最高が1,013円、最低は790円。地域間の格差は23円で、18年度から1円縮小し、16年ぶりに金額差は改善されました。しかし、全労連の調査では、全国どこでも生計費は変わらず、「全国一律1,000円以上、めざせ1,500円」の要求は、地域間格差を是正するものとして社会的にも注目を浴びています。最低賃金を下回る公務労働者をなくすとともに、地域手当の見直しと軌を一にする全国一律最賃制の実現が必要です。

静岡県高教組のとりくみ 県人事委員会に対し、給与水準の引き上げ、諸手当改善、多忙化解消、臨時教職員の勤務条件改善、定年延長問題などを重点とした要求書を提出しました。今、人事委員会委員長・事務局長との交渉、要請行動などとりくみをすすめています。



視座 夏休み、キャンプにいつてきました。いや、キャンプにつれてつもらいませ

みんなで21世紀の未来をつくる 教育のつどい2019 in 滋賀

教育研究全国集会



「教育のつどい2019」は、8月16日～18日の3日間、滋賀県で開催されました。のべ5000人、静岡高教組からも、20人が参加しました。

栗東市での開会集会で、シンポジウム「子どもを命を守ること・子どもの人権・人間の尊厳」が、増山均さんと元SSWをシンポジストに迎えておこなわれました。

日本の子どもたちは警戒的緊張状態にある
放課後も学校化され、子どもの自由世界も政治的・主体的な場も縮小、自己肯定感・幸福感は低下、疲れとストレスで子どもたちは警戒的緊張状態、まさに臨戦状態の中にある。家族も自己責任と貧困の中で孤立し、親も脅迫観念にかられ、愛着形成も困難。子どもらしい生活が欠乏し、「遊びはアホみたいなこと」と発言する子どもも。のんびりしていいんだよ、失敗してもいいんだよ、自分たちの手で取り組むことが大切などの自由な複眼的な視点が必要。子どもを命を守ることは、オピニオンとして意見を言わせることではなく、子どもと教育について語り合うことで元気の魅力を改めて確認しました。

セルフレヘルグループが必要
子どもたちを「未熟」ととらえるのではなく、小さな市民として迎え、障るためには、子どもの意見を受け止めることのできるゆとりと、教職員が悩みを共有しながら学びあえるセルフレヘルグループを持つことが重要。

シンポジウムに先立って日本の障害者福祉を切り開き、「この子らを世の光に」と訴えた糸賀一雄が紹介され、地元の伊吹高校書道部の生徒が大書パフォーマンス、近江兄弟社高校の生徒は演劇で力強いメッセージを発信しました。

7つのフォーラムと3つの特設分科会を含む31の分科会では、改訂学習指導要領やSocial Skillsのに向けた人材育成が押しつけられているなかで、一人ひとりの子どもの声や行動をまっすぐ受け止める、その背景を共有し寄り添う実践が交流されるなど、子どもと教育について語り合うことで元気の魅力を改めて確認しました。

私は、昨年「ジェンダー平等と教育」分科会の司会をしています。ここには実に多様な参加者がいます。レポーターには、教員以外にも出版労組の方もいて多種多彩。11本の報告があり、参加人数は2日間で約70名でした。①ジェンダーとセクシマリティ教育の現状と課題②いのちの誕生③性の多様性④関係性とふれあいの文化、という4つの柱から各レポートについて討論しました。

印象に残ったレポートが3本あります。トランスジェンダーをカミングアウトした当事者の、自分のライフストーリーと学校での啓発活動を報告したものが、多様な性の尊重のために、いかに教育が重要なのかを思い知らされました。また、定時制の世界史でジェンダー視点を取り入れた2つの授業(ゲージョとナ



シンポジウム

《参加者の感想》

ジェンダーを切り口に人間の生き方を学ぶ

私は、昨年「ジェンダー平等と教育」分科会の司会をしています。ここには実に多様な参加者がいます。レポーターには、教員以外にも出版労組の方もいて多種多彩。11本の報告があり、参加人数は2日間で約70名でした。①ジェンダーとセクシマリティ教育の現状と課題②いのちの誕生③性の多様性④関係性とふれあいの文化、という4つの柱から各レポートについて討論しました。

印象に残ったレポートが3本あります。トランスジェンダーをカミングアウトした当事者の、自分のライフストーリーと学校での啓発活動を報告したものが、多様な性の尊重のために、いかに教育が重要なのかを思い知らされました。また、定時制の世界史でジェンダー視点を取り入れた2つの授業(ゲージョとナ



近江兄弟社高校の演劇

イティンゲール」と、発達障害のある生徒を理解し、恋愛を含めどのような支援をしていくのかを考えさせる内容の報告。この2本は本県の実践です。この分科会での実践報告に通底するのは「一人ひとり(の人権)を大切に」ということ。参加者同で、「今後もジェンダーを切り口に人間の生き方そのものについて学んでいこう」と確認しました。

「若者が地域をつくる」とりくみ

開会行事で行われた地元近江兄弟社高校の演劇では価値観の違うメンバーと議論しながらも、ひとつの舞台を作っていく演劇部の姿が描かれ印象深かった。教育フォーラムでは、兵庫県山間地域の定員割れに悩む高校からの「若者が地域をつくる」取り組みを見張った。分科会では「平和と国際連帯」と「外国語教育」の二つに参加。全国の小学校から高校、地域で取り組まれている貴重な実践報告を聞く

ことができた。普段置かれている場を離れると、様々な価値観やそれらに共通する普遍的な大切なことに改めて気づくことができる。帰路、岐阜の知り合いの先生を頼み、かねてより行きたくかった杉原千畝記念館を仲間と訪れることができたのも忘れられない思い出となった。(山口良二)

「真理は醜い」か
平和と国際連帯の教育分科会の基調報告では、あいちトリエンナーレ「表現の不自由展」中止が、ナチスによる「退廃美術展」(1937年)でオットー・ディクスの作品が排除されたことと酷似していると指摘があった。彼の「塹壕」銅版画シリーズ「戦争」などの作品は、「戦争の悲劇をことさらに強調し、愛国の英雄を辱め避を呼びかける共産主義の陰謀だ」(ヒトラー)と弾圧された。

「真理は醜い」か

平和と国際連帯の教育分科会の基調報告では、あいちトリエンナーレ「表現の不自由展」中止が、ナチスによる「退廃美術展」(1937年)でオットー・ディクスの作品が排除されたことと酷似していると指摘があった。彼の「塹壕」銅版画シリーズ「戦争」などの作品は、「戦争の悲劇をことさらに強調し、愛国の英雄を辱め避を呼びかける共産主義の陰謀だ」(ヒトラー)と弾圧された。

私は一人の生徒との関係について発表しました。日々の実践を記録して報告し、みんなで議論する中で、細かな部分も深く掘り下げて考え、様々な考え方を知り、自分の実践をあらためて見つめなおすことができ、とても良い機会をいただきました。毎日が忙しくて、職場の仲間と話をしたり、教育について語り合う機会が持てない今こそ、このようにつどいに参加して、学びあひ、自分を高めたいと思います。(池田ゆかり)

「82年生まれ、キム・ジョン」

キム・ナムジュ著 斎藤真理子訳 筑摩書房

話題の本を読む6

この小説の最初の章は「二〇一五年秋」、最後は「二〇二六年」で終わる。この間に一九八二年から二〇一五年のジョンの半生が四章に分けて書かれている。ジョンの夫デヒョンが妻の異変に気づくところから始まる。まず、デヒョンの大学生時代に振った女性がジョンに憑依し、言葉が発する。「あんたつたら、まだ私震えながら告白した二十歳の私」と思っている。夫は凍りつく。さらに、秋夕(チルソク)でソウルから釜山の夫の実家に行った時、義母が料理を盛りだくさん作っているのを、嫁であるジョンも手伝うことになる。それに対し義母がこんな習慣やめよと言った。義母はジョンに聞く。「あんたも大変なの?」と。すると、「ああ、もう、義母さん。うちのジョンはねえ、実は、帰省のために体をこわすんです」と彼女は憑かれたように喋りはじめ、その場は、「巨大な氷河の上に家族全員が座っている」みたいになる。この冒頭部分が、読者の心をつかむのだ。それ以後は、家庭、学校、職場で起こる様々な女性差別が語られる。例えば、大学では、学科長が「女があんな賢いと会社でもてあますんだよ」と言った。就職では圧倒的に男性が有利であったりする。やつと就職すれば、出産と同時に退職。さらに「味噌女」という新語が紹介される。これは女は働かず男に寄生しているという意味「ママ虫」。育児をろくにせず遊びまわる母親を指す。ただ、これは韓国特有の話ではない。例えば、日本の企業の総合職は独身や子どもがいない「特別な人」しか働き続けられないし、賃金も極端に男女で違う(なぜ働き続けられない? 岩波新書)。これは韓国とほとんど変わらない。また、益暮れに日本の女性を感じるのも、韓国の秋夕と同様だろう。

一つだけ違うことがある。韓国では男性は二年間の兵役の義務がある。これが、韓国男性の女性蔑視の背景にあることは確かだ。この作品は韓国では異例の100万部突破、日本でも発売三ヶ月で13万部を突破したという。(Y)



82年生まれ、キム・ジョン
韓国で100万部突破!映画化決定